

東北大学埋蔵文化財調査年報18  
 仙台城跡二の丸第17地点の調査  
 正誤表

頁	行	誤	正
例言	10	須藤隆	阿子島香
例言	15	阿子島香氏(東北大学大学院文学研究科)に校訂していただいた。	阿子島香が校訂した。
13	31	2001年6月23～25日	2000年6月23～25日
18	28	専門員会での	専門委員会での
19	27	明治15年(1883年)	明治15年(1882年)
23	2	明治15年(1883年)	明治15年(1882年)
35	13	寛永13年(1638年)の	寛永15年(1638年)の
35	29	寛永12年(1638年)	寛永15年(1638年)
35	30	寛永12年(1638年)から	寛永15年(1638年)から
39	25	厚さ5.7mを測る。	厚さ50mを測る。
43	28	1号柱列と	25号柱列と
43	29	底面レベルは62.05cm、	底面レベルは62.05m、
66	6	(図117-2・13)	(図117-12・13)
66	22	C-15に	C-15区に
67	10	西部は、	東部は、
77	26	南北部分では、	南北部分では、
78	23	C～F-8・区9で	C～F-8・9区で
85	38	上幅45cm前後、	上幅45cm前後、
86	14	F・G10区では、	F・G-10区では、
92	2	置かれと	置かれたと
98	35	幅15～20、	幅15～30cm、
106	25	2号・3号杭列の	1号・2号杭列の
107	1	N-1.5-Wである。	N-16°-Eである。
107	33	正ければ、	正しければ、
116	6	図75-94、図77-129)	(図75-94、図77-129)
117	19	(図版65-147～149)	(図版65-147～149)
117	21	(図版61-59・60、図62-77)	(図版61-59・60、図版62-77)
118	34	15cm以上の大型のもの	15cm以上の大型のもの
122	1	(39、42、43)	(39、43)
122	32	両端に溝がなく	短辺に
124	23	漆塗りの土の出土しており、	漆塗りのものも出土しており、
134		図77-117 天地逆	
233	37	「奥州仙台城図」	「奥州仙台城輪図」
240	19	これら18世紀の絵図に	これら19世紀の絵図に
240	22	18世紀の状況を、	19世紀の状況を、
240	27	18世紀のものと	19世紀のものと
242	34	堀1～4号堀には、	1～4号堀には、
243	16	9号溝	9・32号溝
243	22	9号溝では	9・32号溝では
245	17	大型のもの3つに	大型のもの3つに
246	1	9号溝では	9・32号溝では
251	下段	2 土質質土器皿の糸切り技法と回転方向のグラフ中タイトル22号溝(III62期)	9・32号溝
252	3	寛永13年(1638年)	寛永15年(1638年)
252	9	明治15年(1883年)	明治15年(1882年)
255	27	to 13th year of Kan'ei	to 15th of Kan'ei
255	28	from 13th year of Kan'ei	from 15th year of Kan'ei
255	33	15th year of Meiji(1883)	15th year of Meiji(1882)